

3

Once upon a time, there was a poor but very honest woodman.

One day, when the woodman was cutting trees in the forest as usual, his hand slipped and he accidentally dropped his precious axe in a pond.

"Oh shoot, my precious axe..."

The woodman got completely discouraged and sadly sat down by the pond.



5

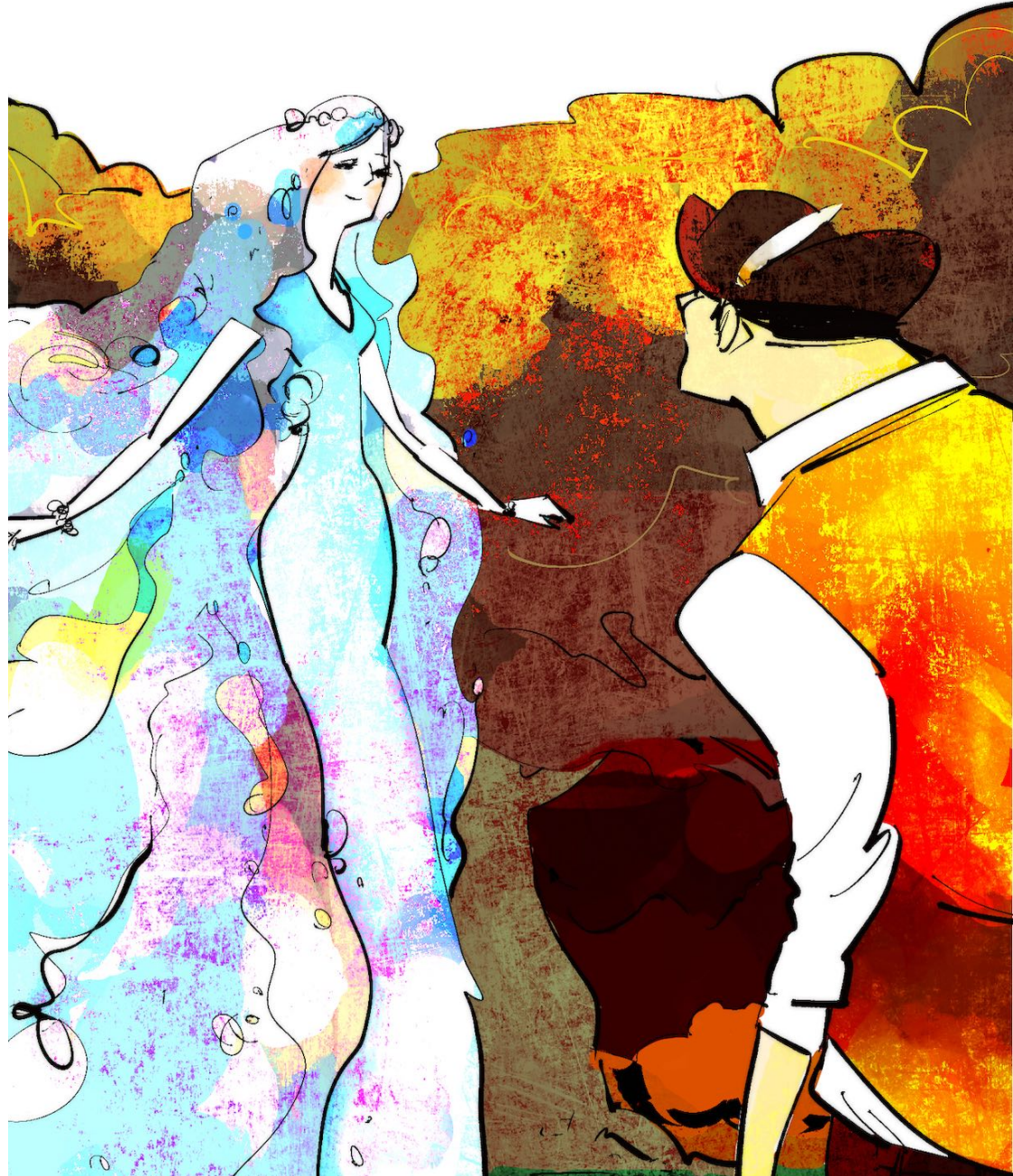
Then, all of a sudden, the pond glowed gold and a very beautiful woman emerged from the pond.

"I am *the spirit of the pond*. You seem to be having trouble with something, what's the matter?"

"Yes, I have just dropped my precious axe into this pond. Without that axe, I can't get my work done."

"Oh, that must be a lot of trouble. Please wait here a little."

With these words, the spirit disappeared into the water.



むかし あるところに、びんぼうですが、
とても しょうじきものの きこりがいました。

あるひ、いつものように もりで
きを きっていた きこりは、
つい てを すべらせて、
あいようの おのを みずうみに
おとしてしまいました。

「あ～あ、たいせつな おの なのに。
やっちまったなあ・・・」

きこりは すっかり きをおとして、
みずうみの ふちに すわりこんでしまいました。



すると とつぜん、
みずうみが きんいろに かがやき、
みずの なかから、とてもうつくしい じょせいが
すがたを あらわしました。

「わたしは、この『みずうみの せいれい』です。
なにか こまっているようですが、どうしましたか？」
「はい。この みずうみに、
たいせつな おのを おとしてしまったのです。
あれがないと、しごとが できません」
「それは おこまりでしょう。
そこで すこし おまちください」

そういと みずうみの せいれいは、
みずの なかに きえていきました。

